

第87期 事業報告及びその附属明細書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益財団法人 東京海上各務記念財団

I. 事業の状況

事業計画で掲げた2つの事業カテゴリー、公益事業1 国内大学生及びASEAN諸国からの大学院留学生に対する奨学金事業、公益事業2 若手研究者の学術研究及び普及、並びに地震研究に対する助成事業を行った。この結果、第87期事業年度の奨学金、助成金の支出額は、合計122,690,000円、公益事業費合計は168,788,865円となった。

事業毎の実施状況は以下のとおり。

公益事業1 国内大学生及びASEAN諸国からの大学院留学生に対する奨学金事業

1. 国内大学生に対する奨学金事業

(1) 事業内容

本事業は、1939年(昭和14年)財団創設以来、当財団の事業の根幹をなすものである。当期は、4月に指定18大学より45名採用し、在籍者計138名に対して奨学金月額50,000円を給与した。また、海外留学支援制度により、留学中の奨学金を11名に給与した。その結果、当期の奨学金は84,510,000円、事業費総額は110,931,103円であった。奨学生の所属大学及び人数は、次のとおりである。

東京大19名、一橋大12名、東京工業大9名、筑波大6名、筑波技術大6名、東京外国語大6名、慶応大12名、早稲田大12名、中央大3名、上智大4名、京都大12名、東北大6名、名古屋大6名、大阪大6名、高知大3名、北海道大7名、九州大6名、琉球大3名 計138名

(2) 主要な事業活動

① 奨学生の選考及び奨学生証授与式

候補者の面接及び選考委員会の審議を経て、当期採用の奨学生を決定し、奨学生証授与式(2023年5月30日)にて理事長より奨学生証を手渡した。

② 日本の文化にふれる会(2023年7月8日)

国立劇場での歌舞伎鑑賞教室に参加した。併せて奨学生同士の交流を推進する目的で懇親会を開催した。国内奨学生・ASEAN奨学生計64名が参加した。

③ 那須研修合宿(2023年9月14日~9月15日)

東京海上スポーツ財団が運営している那須スポーツパークで1泊2日の合宿研修を行った。国内奨学生・ASEAN奨学生計53名が参加した。

④ ASEANを知る会(2023年9月14日)

ASEAN諸国についての理解と奨学生間の交流を深めることを目的として、那須研修合宿のプログラムの一つとして実施した。国内奨学生・ASEAN奨学生計53名が参

加した。

⑤ SNSの活用及び「友情の絆」発行

通年で財団 Facebook グループを活用し、奨学生間のタイムリーな情報共有・意見交換を行い、相互理解を深めた。また、機関誌「友情の絆」第24号を発行した。(2023年10月)

⑥ 交流の集い (2023年11月10日)

国内奨学生・ASEAN奨学生の交流会を開催した。参加者はOBOGを含む国内奨学生・ASEAN奨学生、来賓、財団関係者を含め総勢200名を超えた。

⑦ 次年度奨学生募集活動(2023年11月~12月)

2024年度募集要項の説明のため、指定18大学を往訪して打合せを行った。

⑧ 修了懇親会 (2024年3月21日)

国内奨学生の修了者を対象に懇親会を開催し、41名が参加した。

2. ASEAN諸国からの大学院留学生に対する奨学金事業

(1) 事業内容

本事業は、東京海上火災保険株式会社(現在、東京海上日動火災保険株式会社)の創立110年記念事業の一環として1990年(平成2年)から開始した事業であり、同社からの毎年の寄付金をもとに実施している。

指定大学の大学院(修士・博士課程)へ私費留学しているASEAN諸国からの留学生を対象に奨学金を給与するもので、当期に採用した7名を含む在籍者15名に対して奨学金月額180,000円を給与した。その結果、当期の奨学金は27,180,000円、事業費総額は43,385,328円であった。

奨学生の所属大学、人数及び国籍は次のとおりである。

東京大2名(マレーシア、フィリピン)、一橋大1名(ベトナム)、東京工業大1名(カンボジア)、筑波大1名(ベトナム)、北海道大1名(フィリピン)、名古屋大1名(ベトナム)、京都大2名(ミャンマー、マレーシア)、東北大2名(ベトナム)、大阪大2名(タイ、インドネシア)、上智大2名(フィリピン、インドネシア)

計15名

(2) 主要な事業活動

① 奨学生の選考及び奨学生証授与式

1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動①に記載

② 日本の文化にふれる会(2023年7月8日)

1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動②に記載

③ 那須研修合宿(2023年9月14日~9月15日)

1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動③に記載

④ ASEANを知る会(2023年9月14日)

1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動④に記載

⑤ SNSの活用及び「友情の絆」発行

1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動⑤に記載
- ⑥ 交流の集い (2023年11月10日)
1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動⑥に記載
- ⑦ 次年度奨学生募集活動(2023年11月~12月)
- 2024年度募集要項の説明のため、指定14大学を往訪して打合せを行った。
- ⑧ ASEAN現地同窓会
- 2カ国にて現地同窓会を開催し、奨学生OBOGとの絆を深めた。
- a. シンガポール同窓会 (2023年11月21日)
- シンガポール在住のOBOG6名とその家族、現地出張中の国内奨学生OB1名が参加した。
- b. マレーシア同窓会 (2023年11月23日)
- マレーシア在住のOBOG3名とその家族、現地出張中の国内奨学生OB1名とTMIマレーシア社から1名が参加した。
- ⑨ ASEAN東京同窓会 (2024年3月3日)
- 日本在住のOBOG9名とASEAN奨学生6名が参加した。
- ⑩ 修了式 (2023年10月10日、2024年3月4日、2024年3月19日)
- 大学院博士課程、修士課程を修了した8名(ベトナム2名、タイ・インドネシア・マレーシア・フィリピン・カンボジア・ミャンマー各1名)の修了式を行い、賞状を贈呈した。

奨学生選考委員会の構成は以下のとおり。

(2024年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	現職
選考委員	高谷紀夫	2022.7.1	広島大学名誉教授
同	杉山武彦	同	一橋大学名誉教授
同	雨宮寛	同	元東京海上ホールディングス副社長
同	磯貝隼人	同	元東京海上日動執行役員
同	長村政明	同	東京海上日動フェロー
同	長沼聡史	同	東京海上日動執行役員 海外事業企画部長
同	古川雅晴	同	当財団常務理事

(敬称略)

公益事業2 若手研究者の学術研究及び普及、並びに地震研究に対する助成事業

当期の研究助成金は以下1、2を合わせて11,000,000円、事業費総額は14,472,434円であった。それぞれの助成内容は、以下のとおり。

1. 学術研究及び普及に対する助成事業

本事業は、国内の若手研究者が、国内、国外を問わず行う社会科学系の研究に対する助成であり、2023年10月24日に審査委員会を開催し、以下5件の助成を採択した。

助成先	目的事項	助成金額
東京大学大学院法学政治学研究科 教授 笠木 映里	公的医療保険における革新的医療の 法的位置付け	1,000,000円
東京大学大学院経済学研究科 准教授 入江 薫	頑健な事後分析	1,000,000円
一橋大学大学院経営管理研究科 特任講師 平本 奈央子	勤務地限定正社員の人事管理が 就業意欲とキャリア形成に及ぼす影響	1,000,000円
慶應義塾大学経済学部 准教授 松田 一茂	大学が格差に与える影響	1,000,000円
早稲田大学政治経済学部 講師 萩原 玲於奈	世代重複型動学的一般均衡モデルを用い た人口高齢化、健康・医療費リスク、金 利水準の関係性に関する研究	1,000,000円
合計		5,000,000円

学術研究助成審査委員会の構成は、以下のとおり。

(2024年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	現職
審査委員	高谷 紀夫	2022.7.1	広島大学名誉教授
同	雨宮 寛	同	元東京海上ホールディングス副社長
同	古川 雅晴	同	当財団常務理事

(敬称略)

2. 地震研究に対する助成事業

本事業は、地震研究に対する助成であり、2023年7月25日、12月12日、2024年2月13日にそれぞれ審査委員会を開催し、以下6件の助成を採択した。

助成先	目的事項	助成金額
岩手大学工学部 准教授 山本 英和	岩手・宮城内陸地震発生前後の地下速度検出の試み	1,000,000円
東京大学地震研究所 准教授 蔵下 英司	稠密地震観測データによる地殻内不均質構造のイメージング手法の確立	1,000,000円
千葉大学大学院理学研究院 准教授 津村 紀子	地下Q構造の研究	1,000,000円
東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター 准教授 岡田 知己	沈み込み帯で発生する内陸地震の観測的研究	1,000,000円
名古屋大学大学院環境学研究科 准教授 寺川 寿子	長期間地震データによる日本列島域のテクトニック応力場の推定	1,000,000円
鳥取大学工学部 社会システム土木系学科 准教授 野口 竜也	令和6年能登半島地震による被害要因の解明のための地盤構造の調査研究	1,000,000円
合計		6,000,000円

地震研究助成審査委員会の構成は、以下のとおり。

(2024年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	現職
審査委員	金 沢 敏 彦	2022. 7. 1	地震予知総合研究振興会会長
同	平 田 直	同	東京大学名誉教授
同	岸 本 哲 哉	2023. 12. 1	文部科学省研究振興局主任学術調査官
同	古 川 雅 晴	2022. 7. 1	当財団常務理事

(敬称略)

II. 処 務 の 概 要

1. 役員等に関する事項

(1) 理事及び監事

(理 事)

定 数 6名以上10名以内

現 在 8名(非常勤8名)

任 期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで

(監 事)

定 数 3名以内

現 在 2名(非常勤)

任 期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで

(2024年3月31日現在)

役 職	氏 名	就任日	常 勤 ・ 非 常 勤 の 別	現 職	最初の就任 年月日
理事長	隅 修 三	2023. 6. 26	非常勤	東 京 海 上 日 動 相 談 役	2023. 6. 26
常務理事	古 川 雅 晴	2022. 6. 22	同	当 財 団 常 務 理 事	2021. 6. 23
理事	越 智 仁	同	同	三 菱 ケ ミ カ ル ク ・ ル ー プ ・ シニアエグゼクティブ コンサルタント	2022. 6. 22
同	工 藤 泰 三	同	同	日 本 郵 船 特 別 顧 問	2020. 6. 16
同	小 林 健	同	同	三 菱 商 事 相 談 役	2020. 6. 16
同	崎 山 裕 司	2023. 6. 19	同	東 京 海 上 日 動 常 務	2023. 6. 19
同	杉 山 武 彦	2022. 6. 22	同	一 橋 大 学 名 誉 教 授	2004. 7. 1
同	藤 田 友 敬	同	同	東 京 大 学 法 学 政 治 学 研 究 科 教 授	2020. 6. 16
監事	上 田 孝 二 郎	同	同	上 田 公 認 会 計 士 事 務 所 公 認 会 計 士	2010. 3. 11
同	富 張 嘉 則	同	同	元 東 京 海 上 日 動 経 理 部 長	2013. 6. 25

(五十音順・敬称略)

(2) 評議員

定数 9名以上15名以内

現在 10名（非常勤10名）

任期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで

（2024年3月31現在）

役職	氏名	就任日	現職	最初の就任年月日
評議員	上原 治也	2022. 6. 22	三菱UFJ信託銀行 特別顧問	2018. 6. 18
同	大森 京太	同	三菱総合研究所 特別顧問	2022. 6. 22
同	各務 謙司	同	カガミ建築計画 代表	2019. 6. 28
同	北沢 利文	2023. 6. 19	東京海上日動 相談役	2023. 6. 19
同	国友 直人	同	東京大学 名誉教授	2023. 6. 19
同	小室 正紀	2022. 6. 22	慶應義塾大学 名誉教授	2015. 6. 17
同	永野 毅	同	東京海上ホールディングス 取締役会長	2017. 6. 19
同	三毛 兼承	同	三菱UFJフィナンシャルグループ 取締役執行役会長	2022. 6. 22
同	三宅 占二	同	キリンホールディングス 名誉相談役	2018. 6. 18
同	山下 友信	同	東京大学 名誉教授	2004. 7. 1

（五十音順・敬称略）

2. 職員に関する事項

（2024年3月31現在）

役職	氏名	入社年月日	担当
事務局長	関 康 人	2023. 4. 1	総括
職員	田 中 佳 子	2015. 12. 1	庶務
職員	菅 近 洋 子	2020. 4. 1	庶務・会計
職員	内 藤 亜 紀	2023. 5. 1	庶務

3. 会議に関する事項

(1) 理事会

開催月日	議 事 事 項	結果
2023年6月2日	(1) 第86期（2022年4月1日から2023年3月31日まで） 事業報告及び 決算（案） 承認の件 (2) 評議員会招集の件（6月19日） (3) 事務局長の選任の件 関 康人（新任） (4) 報告事項 ①2023年度奨学生採用結果 ②資産運用	原案可決 原案可決 原案可決
2023年6月19日 （決議があったと みなされる日）	定款第35条第2項による理事会 (1) 代表理事の選定（6月19日付）の件（候補者：隅 修三） (2) 理事長の選定（6月26日付）の件（候補者：隅 修三）	原案可決 原案可決
2023年11月17日 （決議があったと みなされる日）	定款第35条第2項による理事会 (1) 地震研究助成審査委員の選任（12月1日付）の件 岸本哲哉（田口重憲の後任として）	原案可決
2024年3月1日	(1) 第88期（2024年4月1日から2025年3月31日まで） 事業計画（案） 承認の件 (2) 第88期（2024年4月1日から2025年3月31日まで） 収支予算（案）、 資金調達及び設備投資の見込み（案） 承認の件 (3) その他の理事会承認案件 （流動資産の奨学資金積立資産への繰り入れ承認） (4) 報告事項 ①研究助成の採択 ②奨学生修了者の進路 ③在籍奨学生の留学状況 ④資産運用 ⑤ASEAN現地同窓会	原案可決 原案可決 原案可決

(2) 評議員会

開催月日	議 事 事 項	結果
2023年6月19日	(1) 第86期(2022年4月1日から2023年3月31日まで) 事業報告及び 決算(案)承認の件 (2) 役員及び評議員の選任の件 ①理事候補者 隅修三(新任) 崎山裕司(和田清の後任として) ②評議員候補者 国友直人(植田和男の後任として) 北沢利文(隅修三の後任として) (3) 報告事項 ①第87期事業計画及び収支予算 ②奨学生修了者の進路 ③2023年度奨学生採用結果 ④在籍奨学生の留学先	原案可決 原案可決

(3) その他の会議

「I. 事業の状況」に記載のとおり。

4. 許可、認可及び承認に関する事項

なし

5. 内閣府指示に関する事項

なし

6. 契約に関する事項

なし

7. 寄付金に関する事項

目的	寄 付 者	寄付金額	備 考
事業資金	東京海上日動火災保険株式会社	12,600,000円	ASEAN奨学金事業資金として

8. その他の重要事項

2023年4月20日 第86期事業年度決算数字につき、太陽有限責任監査法人の期末監査を受けた。

2024年1月19日 第87期事業年度決算数字につき、太陽有限責任監査法人の中間監査を受けた。

【事業報告の附属明細書】

事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。